

笑顔いっぱい、
さわやかな汗

町内各地区で運動会

弓削秋季大運動会 9月23日(日)



魚島大運動会 9月15日(土)



いわぎ秋季大運動会 9月16日(日)



いきな秋季大運動会 9月23日(日)



9/28 揚げ浜式製塩への挑戦
ー弓削・鎌田塩田での塩作りー

9月28日(金)、弓削島の鎌田地区において、愛媛大学考古学研究室、NPO 法人弓削の荘、上島町教育委員会の共催による揚げ浜式塩田体験会が開催されました。石川県能登半島の珠洲市でその土地の伝統文化である揚げ浜式製塩を実際に経験された愛媛大学の村上恭通教授のご指導で、中世の時代に「塩の荘園」弓削島荘で行われていた製塩方法を再現し体感しました。

揚げ浜式塩田を再現した約100㎡の鎌田塩田に打桶(おちよけ)と呼ばれる専用の桶を使って約200リットルの海水を撒き、砂を早く乾燥させるために、細攪え(こまざらえ)という道具で塩田の表面に筋目を入れました。その後、5時間ほど天日で砂を乾燥させました。塩分の付着した砂を集め、沼井(ぬい)と呼ばれる木製の箱にその砂を入れ、砂の上から海水をかけて濃い塩水である「かん水」



できあがった天然塩



打桶(おちよけ)に入った海水を撒く

が出来上がりました。海水の塩分濃度は約3%ですが、今回の体験会では塩田での一連の作業によって塩分濃度が約5.2%の「かん水」を得ることができました。塩分濃度計で「かん水」の塩分濃度が確認されると、会場は歓喜に包まれました。実際の作業では、この後に「かん水」の荒焚き、ろ過、本焚き等の工程が続きますが、今回は事前に塩分濃度が30%の「かん水」を準備し、本焚きを行い、不純物を除去し、塩を得ました。

台風接近のため揚げ浜式塩田体験会の本番は1日早く開催されましたが、当日はよい日となり、塩田体験を行いながら、地元の皆さんと学生さん、塩田を訪れた旅行者との交流を深めることができました。また、昭和30年頃まで生名島で塩田作業に従事されていた方も参加され、貴重な体験談を聞くことができました。参加者は、出来上がった塩を口にしながら、上島町の塩の文化を継承した喜びを分かち合いました。

10/2 来島者が上島を再発見
第13回いのしま・ふるさと再発見講座



10月2日(火)、地域の歴史を学ぶ「第13回いのしま・ふるさと再発見講座」が開催され、因島からの来島者を中心に約40名の参加がありました。今回の講座では、弓削島の史跡や文化財等を巡りました。まず、久司山展望台で上島町の地理的環境を確認した後、古墳時代の横穴式石室が残る久司山古墳を見学しました。また、定光寺、弓削神社、自性寺、高浜八幡神社では、現在実施している弓削島荘総合調査事業の成果も紹介されました。最後に、NPO 法人弓削の荘を訪れ、現代も生き続ける塩文化を学び、弓削島での講座を締めくくりました。

◀ 弓削土生 定光寺観音堂(重要文化財)

健康長寿を願って

町内各地区で敬老会

9月17日の敬老の日の前後、町内5地区において、健康と長寿を祝う敬老会が開催されました。

式典では、100歳以上の方や、米寿（数え88歳）の方に、それぞれ宮脇町長から表彰状や記念品の贈呈が行われました。

また、祝宴の部では舞踊やカラオケ、保育所園児や小中学生によるステージなど、各地区で趣向を凝らした出し物が行われました。



生名地区 9月8日(土)



魚島地区 9月11日(火)



高井神地区 9月13日(木)



弓削地区 9月14日(金)



岩城地区 9月29日(土)

9/24

七つの海へ いざ出航

弓削商船高等専門学校

9月24日(月)、弓削商船高等専門学校において、商船学科卒業式が行われました。明治34年設置海員学校時代から多くの船員を送り出してきた同校、今年は商船学科卒業生32名が、弓削島から人生という大海原へ巣立っていきました。今後のご活躍を祈念いたします。



卒業証書授与



卒業生答辞



在校生送辞

対象者の皆さん、来年もお元気で出席されますよう、健やかにお過ごしください。

9/27

児童・生徒が安全をよびかけ

秋の全国交通安全運動in魚島

9月27日(木)に魚島地区で「交通茶屋」が開催されました。この交通茶屋は、秋の全国交通安全運動期間中に伯方地区交通安全協会魚島支部・愛媛県伯方警察署・上島町立魚島小中学校児童生徒が主となって行われたものです。

魚島総合支所前で、交通安全協会の会員や、魚島小中学校児童生徒たちがイラストした交通安全グッズ・反射材などを道行くドライバー・歩行者に配り、交通安全・交通事故防止を呼びかけました。

今年は県警を中心に交通死亡事故抑止“アンダー

50“達成に向けた交通安全対策を積極的に推進していますが、9月27日現在で県内の交通事故による死亡者は35人に上っています。車に乗る人も歩行者も交通ルール・マナーを守って事故防止に努めてください。



10/14

高齢者の住みよい町ってどんなまち？ 岩城地区地域ふれあい学習会

10月14日(日)には岩城開発総合センターで岩城地区地域ふれあい学習会を開催しました。岩城地区では昨年度から高齢者の人権問題をテーマに話し合ってきました。今年は1年間自分たちが行動できたかどうかの検証と、高齢者へのアンケートをもとに今後の地域づくりについて話し合いました。中学生の積極的な意見に、大人も自分たちが見本となって行動しなければという意識が高まったと思います。この学びを続けること、広げていくことが大切だという意見も出ていました。今後もより多くの方に参加していただける学習会にしていきたいと思っています。



10/13

男女の違いってなあに？ 魚島地区地域ふれあい学習会

10月13日(土)魚島小中学校において、魚島地区地域ふれあい学習会を開催しました。

今回は「男女の違いってなあに？」をテーマに小中学生、保護者、地域の方が一緒に学習活動を行いました。前半はグループ活動を、後半は今治人権擁護委員協議会の方に男女共同参画社会についての紙芝居をしていただきました。普段の生活の中に性別の違いによる思い込みや偏見があることに気づくことができ、参加者も楽しく学習を深めることができました。



10/10

歌いつごう日本の歌

弓削小学校



10月10日(水)、県教育委員会の「歌いつごう日本の歌」事業の一環で、声楽家の今久保宏美(西条市)さんが弓削小学校を訪れました。

今久保さんは、同校の校歌を作詞作曲した本居長世の「汽車ぽっぽ」「青い眼の人形」「赤とんぼ」「ふるさと」などを越智清加さん(松山市)のピアノ伴奏とともに歌声を披露しました。お返しに児童らは「十五夜お月さん」と「校歌」を斉唱し、最後は全員で「七つの子」を歌いました。児童らは今久保さんの伸びやかで美しい歌声にじっと聞き入っている様子でした。

